

Rainbow Times



Child Abuse & Neglect Vol.75 2018年1月号の紹介

Vol. 75 特別号テーマ「**幼少期の虐待、ネグレクト、及び関連するストレス要因の分脈において、教育と学習に光をあてる**」総論と研究論文 13編が掲載！

編集部の推奨論文「**幼少期に受けた暴力と学業との関係：世界規模の系統的レビューとメタ分析**」では、21カ国、合計110編の研究をもとに系統的レビューとメタ分析を行い、幼少期に受けたさまざまな種類の虐待と教育との関連を評価しています。結果から、幼少期に暴力を経験した子どもが学校を卒業しない確率は13%であること、性的虐待を受けた女子では不登校のリスクが3倍高まることなど、暴力や性的虐待が子どもの就学状況や学業成績に影響を与え、教育の不平等をもたらしていることが示されました。

その他、1月号に掲載されている研究論文を一部紹介します。

- ・ **体罰の度合いと、子どもの認知能力と学校への適応との関連**
8~14歳の658人を対象に、体罰の程度（軽度/厳しい/身体的虐待）と、認知能力・就学状況・友人関係の関連を3年間調査した結果、体罰は程度に関わらず就学状況の減少と関連し、厳しい体罰は友人からの孤立に関連していることを提示。
- ・ **スウェーデンの若者における虐待と不登校の關係に関するエビデンス**
平均年齢14.3歳の1,326人を対象に不登校と虐待、精神保健や学校への認識等との関連を調査した結果、不登校の生徒の25%に虐待被害があり、虐待被害を申告した生徒にはより多くの精神保健課題、教師との関係の悪さが見られたと報告。
- ・ 『**里親委託の子どもは最初からマークされている**』障がい児の里親家庭と学校間のコミュニケーション
障がい児を養育する里親7人へのインタビューを分析。教育に積極的に関わる里親は学校と前向きな関係を持っていた一方、受身的な里親は学校との関わりに消極的で、怒りや不信を表していたことを提示。里親と学校の関係改善への考察も加える。
- ・ **トラウマの影響**
：里親委託下にある若者の学問への希望を、トラウマがいかに阻害するか
里親委託となった子どもたちは義務教育期間中、様々な学業上の困難に遭遇する。それでも多くは進学を希望するが学位取得者は少数である現状から、大学在学中の学生を対象に調査を実施。その結果、過去の被虐待歴や里親制度との関わりが、在学中に不安、うつ、PTSD等の精神保健上の問題をもたらしていることを報告。

ISPCAN 公式雑誌
Child Abuse & Neglect
出版の目的と狙い

「児童福祉、健康、人道的援助、司法、精神保健、公衆保健及び社会サービス制度に関する研究を発表する国際的、学際的論文誌である。

変化し続ける児童保護を世界的な関心事と捉え、経済力、文化、児童保護制度の特徴が異なるさまざまな国の研究者、政策策定者、関心の高い市民、権利擁護者、専門家に役立つ論文を掲載することを目的にしている。

世界的な視点とともに、特定の文化・伝統、環境に基づいた投稿も歓迎する。」

ISPCAN

(International Society for the Prevention of Child Abuse and Neglect)
子ども虐待、ネグレクトに対する治療と予防を世界規模で研究、実践するため、Henry Kempeによって1977年に設立。

虹センターのH30年度研修の概要をご紹介します！

義務研修講師等養成研修 H30.5.15~5.18 (定員80名)

①要保護児童対策調整機関連担当者研修を中心に、②児童福祉司任用前講習会及び③児童福祉司任用後研修を担当する講師及び企画者向けの研修です。研修で使用した資料はHPにアップされ、講師として研修を行う際の参考資料として使用できます。

児童相談所児童福祉司SV義務研修 A日程：H30.5.29~5.31/H30.10.30~11.1 B日程：H30.6.12~6.14/H30.11.13~11.15

H29年度から義務化された福祉司SV研修はH30年度も2回開催します。(定員各80名)

児童福祉施設指導者合同研修 H31.1.16~1.18 (定員120名) 申込者増加のため定員拡大！

乳児・養護・児心・児童自立等が集まり、講義や事例検討だけでなく、「里親との協働」「人材育成」などをテーマに、施設種別を越えて子どもたちのケアについて議論をかわします。

テーマ別研修「配偶者間暴力をめぐって」 H31.3.5~6 (定員140名)

DVの実態、被害・加害の理解、DVがこどもの育ちに与える影響、そして親子への支援について、講義やシンポジウムを通して考えます。

平成30年度の研修概要(冊子)が完成しました！各機関にお送りしましたが、ホームページ(援助機関向けページ)からダウンロードすることもできます。*年度初めの研修については、3月下旬より申込を開始しています。

H30年度研修紹介

！注！平成30年度より
「児童相談所所長研修」
「児童相談所児童福祉司SV義務研修」は都道府県市との委託契約による研修となります。



企画・編集室(担当:南山)お気づきの点は下記まで...
〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地
子どもの虹情報研修センター
TEL:045-871-8011 FAX:045-871-8091 Email:guest-1@crc-japan.net

情報発信の配信先アドレスの変更
・配信停止等はこちらまでご連絡ください。